

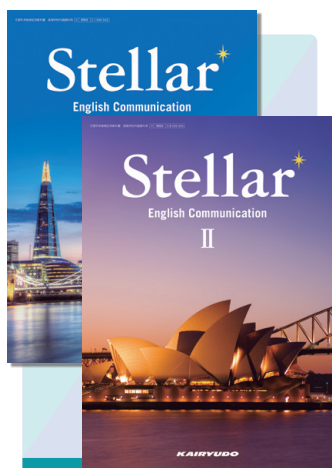
令和9年度～

文部科学省検定済教科書

高等学校外国語科用

内容解説資料

英語コミュニケーション



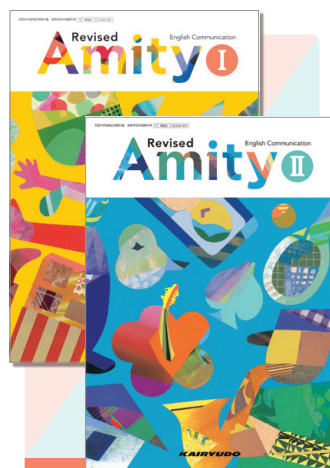
Stellar
English Communication I II

CI 009-903 | CII 009-903



Bloom
English Communication I II

CI 009-902 | CII 009-902



Revised Amity
English Communication I II


CI 009-901 | CII 009-901

論理・表現



Revised Applause
English Logic and Expression I II

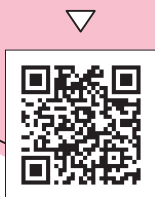
論I 009-902 | 論II 009-902



Revised Amity
English Logic and Expression I II

論I 009-901 | 論II 009-901

教科書の詳細は
ウェブページでも
ご覧いただけます



本資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則って、
配付を許可されているものです。

KAIRYUDO

英語
コミュニケーション

論理・表現

Stellar
English Communication

Bloom
English Communication

Revised
Amity
English Communication

Revised
Applause
English Logic and Expression

Revised
Amity
English Logic and Expression

ひろがる世界、つながる未来

Expand your world, connect with the future.



予測不能な変化が続く時代を生きる高校生。
彼らにとって、英語を学ぶことは世界をひろげる第一歩です。

海外の文化や価値観にふれることで新しい視点が生まれ

自分の世界が豊かになります。

異なる背景をもつ人々と理解し合うことで

未来の可能性につながります。

開隆堂の教科書は、実践的なスキルを学ぶなかで

コミュニケーションの楽しさを感じることができ

自らの考えを表現する力を育てます。

世界がひろがれば、未来はつながる——

新しい時代を生きる高校生に

自信をもって新たな一歩を踏み出してもらいたい。

そんな思いを胸に、新しい英語教科書をご用意しました。

歴代最強ラインナップここに誕生!

実践的な英語力の養成と楽しさ・学びやすさを両立させた〈英コミュ Stellar⁺〉。

幅広い生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫をこらした〈英コミュ Bloom〉と〈論表 Applause〉。

英語に苦手意識がある生徒を念頭に、わかりやすさに磨きをかけた〈英コミュ Amity〉と〈論表 Amity〉。

「英語コミュニケーション」と「論理・表現」の連携も強化し、開隆堂高校英語教科書の歴代最強ラインナップが完成しました。

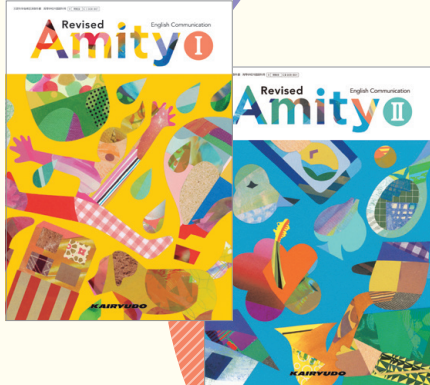
言語材料配列は一般的な文法書を参考にしています

〈英コミュ〉 Stellar ⁺ Bloom	〈論表〉 Applause Amity	文法参考書 (一例)
時制	時制	時制
助動詞	助動詞	完了形 助動詞
完了形	完了形	
受動態	受動態	受動態
比較	比較	
動名詞、不定詞	動名詞、不定詞	準動詞 比較
分詞	分詞	
関係代名詞	関係代名詞	関係詞
関係副詞	関係副詞	
仮定法	仮定法	仮定法
接続詞	接続詞	構文、品詞

〈英コミュ Stellar, Bloom, Amity〉
難易度レベルを
変えながら多くの
トピックを共通化



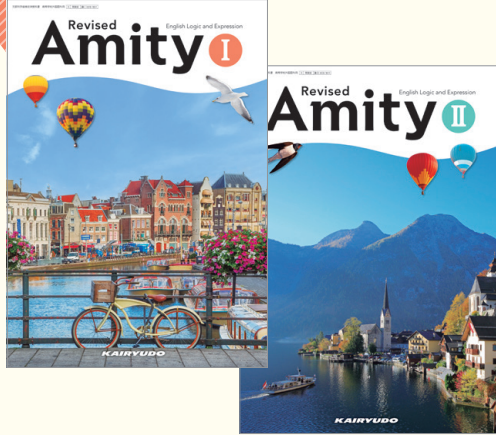
すべての生徒に
寄り添う
ラインナップを
ご用意しました!



言語材料配列を統一
〈英コミュ〉と〈論表〉の
授業連携を可能に

II巻では配列はそのままに、
プラスの形式で
バージョンアップ!

〈英コミュ Amity/論表 Amity〉
わかりやすさに
徹底的に
こだわったシリーズ



〈論表 Applause, Amity〉
難易度レベルを変えつつ
多くのトピックを共通化
登場キャラクターも同じ



「話す力」「書く力」が確実に 身につく教科書です



特色 1

実力定着へ 着実なステップアップ

すべての課で、中学校の復習を導入とした言語材料の学習、さらに発信までをスムーズに展開。生徒は着実に表現力を身につけることができます。

特色 2

場面を意識した 文法理解

トピック関連の扉写真を使った英問英答、中学校の復習を行ったあとにその課で学ぶ文法事項が含まれた対話を読むことで、文法を実際の場面で理解することができます。

特色 3

取り組みやすい 多彩な言語活動

ステップ形式で取り組めるプレゼンテーションやパラグラフ・ライティングなどの発信活動をはじめ、さまざまな場面での英語表現を学ぶなかで、確かな英語力を身につけることができます。

論I 009-902 / B5判 / 144ページ

論II 009-902 / B5判 / 128ページ

Revised Applause I II

English Logic and Expression

●著作者

伊東 治己 鳴門教育大学名誉教授
 飯島 睦美 群馬大学教授
 大竹 保幹 神奈川県立多摩高等学校総括教諭
 奥脇 奈津美 津田塾大学教授
 黒木 太 横浜薬科大学准教授
 野澤 澄子 埼玉県立秩父高等学校教諭
 星野 徳子 津田塾大学教授
 星野 由子 千葉大学准教授
 山森 直人 鳴門教育大学教授

●英文校閲

鎌田 スザン・リン 鳴門教育大学准教授
 Jeffrey Trambley 武蔵野学院大学教授
 Joshua Brook Antle 津田塾大学准教授

(所属は2026年2月現在)

特色	46
学習事項一覧	48
ダイジェスト	50
周辺教材	58

学習事項
一覧

学習意欲をかき立てる魅力的なトピック

学校生活や日常生活で経験するさまざまな場面を取り上げた実践的な内容から、身近なテーマを通じてグローバルな問題にもふれられる内容まで扱っています。

Revised Applause English Logic and Expression I



Lesson 1
My Hero
言語材料 現在と過去を表す表現



Lesson 2
Plans for the Weekend
言語材料 未来を表す表現



Lesson 3
Tips for Foreign Tourists
言語材料 助動詞



Lesson 4
My Own Experiences
言語材料 完了形



Lesson 5
Popular Foods in the World
言語材料 受動態



Lesson 6
Guinness World Records
言語材料 比較①(比較級、最上級)



Lesson 7
The Best-before Dates
言語材料 比較②(同等比較、倍数比較)



Lesson 8
Ready for Disasters
言語材料 動名詞、to不定詞①(名詞の用法)



Lesson 9
Introducing Japanese Culture
言語材料 to不定詞②(形容詞の用法、副詞の用法)



Lesson 10
What Did You See?
言語材料 分詞



Lesson 11
Your Own Special Products
言語材料 関係詞①(関係代名詞)



Lesson 12
A Sightseeing Spot to Recommend
言語材料 関係詞②(関係副詞)



Lesson 13
I Wish I Could
言語材料 仮定法



ダイジェスト ① 導入

扉写真とモデル文で言語材料を導入

トピックへの興味を引き立てる迫力あるビジュアルと、モデル文での文法理解により、トピックの理解と言語材料の理解を促します。

Lesson 2

Plans for the Weekend

▶ GOAL 2 | 週末の予定を発表しよう 未来を表す表現

FOCUS

現行版に引き続き、トピックに関する魅力的な写真やイラストに注目です!

Warm-Up A

3つの扉写真の内容に即した英問英答問題で、トピックのイメージをつかみます。

Warm-Up

A. 上の①~③の写真を見て、それぞれ質問に答えましょう。

B. 日本語を参考に、()に適切な語を補いましょう。

- 今晚: this () 1週間後に: () a week 来週: next ()
- 明朝: tomorrow () 近い将来: in the near ()
- 今週末: this () 大人になったら: when I () up

Warm-Up B 中学校までの学習内容を復習し、本課へつなげます。

A1 How do you feel on rainy days?



A3 What kind of weather do you hope for tomorrow?

Model Dialog

エイミーと拓が週末の予定について話しています。

Amy: Yay! Tomorrow is Saturday. Taku, what **are you going to do**?

Taku: **I'm going to** have soccer practice at school.

Amy: Oh, but the weather forecast **says** it **will** be rainy tomorrow. **Are you going to** have soccer practice even if it rains?

Taku: Well, **it depends**. If it only rains a little, we **will** have practice **as usual**. If it rains rather hard, we **will** have a workout in the gym.

Amy: I see. Anyway, good luck!

Logic & Function

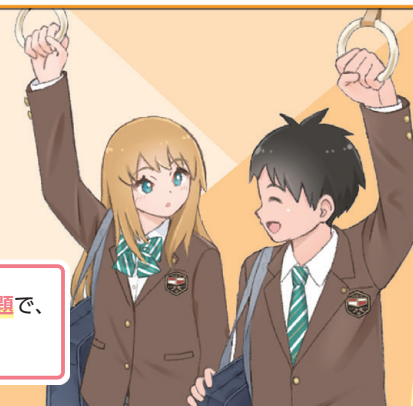
- 4 ~ **says** ~によると (掲示・新聞などが主語の時)
- ④ ~ **shows / ~ states**
- 7 **It depends**. 場合によります。
- ④ That depends. / It varies.
- 8 **as usual** いつものように
- ④ as always / like always

Q&A

1. Why is Amy happy?

2. According to the weather forecast, what will the weather be like tomorrow?

Q&A 対話の要点を問う英問英答問題で、内容理解を促します。



Model Dialog

その課で学ぶ文法事項が含まれた対話を読み、言語材料を理解します。

Logic & Function

Model Dialogに登場する論理的な言い回しや、働き(機能)の類似表現を学び、語彙を増やします。

FOCUS

Model Dialogの日本語訳は巻末にまとめてあり、英語で考えさせる授業展開が可能です。

Basic Activity in Pairs

➔ Useful Words & Phrases p.135-N, p.136-P

下線部に自分のことを当てはめて、ペアで会話しましょう。

- A Where are you going to go on your next holidays?
- B I am going to _____.
- A Sounds nice. What are you going to do there?
- B I am going to _____.
- A What will you do if it rains?
- B Well, I will _____.

Hints

- go shopping 買い物に行く
- go on a picnic ピクニックに行く
- see a movie 映画を見る
- relax at home 家でんびりする
- play online games オンラインゲームをする

Basic Activity in Pairs

Model Dialogの内容に関連したかんたんな会話練習を行い、英語で自己表現する力を引き出します。

Sound Corner 音節とアクセント

英単語は音節の数を意識しながら、アクセントが置かれる音節を強く長く発音します。例えば、sandwichはsandwichと発音します。①~⑤の単語はそれぞれ①~⑤のどれに当てはまるでしょう。

- ① especially () ② practice () ③ library () ④ respect () ⑤ tomorrow ()
- a ● ● b ● ● c ● ● d ● ● e ● ●

Sound Corner 音読の際に注意したい英語の音声の特徴を学びます。

ダイジェスト
②
定着

基礎学力の確実な底上げ

さまざまなパターンの練習問題を通して、語句の使い方を身につけ、思考力を鍛えることができます。

I 巻 pp.24-25



Focus

【未来を表す表現】 → 文法のまとめ① pp.120-121

Focus

その課で学ぶ文構造・文法事項を、**簡潔な解説と例文**で身につけます。QRコードから**文法アニメ**を視聴することができます。

→ p.59 QRコンテンツへ

FOCUS
言語材料の詳細な使い方を項目ごとに整理しました。

A

助動詞 will 未来の出来事を単純に予測したり、自分の意志を伝えたりするときに用いる。

- 1. I **will** be 16 next month. 私は来月 16 歳になります。
- 2. I **will** talk to John about this matter. 私はこの問題についてジョンと話をします。

B

be going to ~ 前兆が現れている場合や、予定を伝えるときに用いる。

- 3. Look at the clouds. It **is going to** rain soon. 雲を見てごらん。じきに雨になりそうだね。
- 4. I'm **going to** apply for the scholarship. その奨学金に申し込むつもりです。

C

現在形 前から予定されている出来事や、確定しているスケジュールを伝えるときに用いる。

- 5. We **have** a test this Friday. 今週の金曜日にはテストがあります。
- 6. The plane for LA **leaves** at ten tomorrow. ロサンゼルス行き飛行機は、明日 10 時に出発します。

D

進行形 確実な未来の出来事や、すでに準備が整っている予定を伝えるときに用いる。

- 7. That store **is opening** in two weeks. あのお店は 2 週間後に開店します。
- 8. I'm **visiting** Canada this summer. この夏カナダを訪問します。

Tips for Grammar

● 同じ日本語なのにいろいろな英語で表現…?

「今晚ジョンに会います」という日本語を英語にする場合、「発話の時点で、話者がジョンと会う約束をしているかどうか」によって、次の3つの表現が可能です。

- Ⓐ I **will** meet John this evening. 決断 → 発話 → 約束 → 会う
- Ⓑ I'm **going to** meet John this evening. 決断 → 約束? → 発話 → 約束? → 会う
- Ⓒ I'm **meeting** John this evening. 決断 → 約束 → 発話 → 会う

Ⓐでは、会話の中でジョンと会う**決断**と**発話**を同時にしており、まだジョンと会う**約束**はしていません。Ⓑでは、会話より前に**決断**を**発話**していますが、ジョンと会う**約束**をしているかどうかはわかりません。一方Ⓒでは、**発話**と会う**約束**をしています。よって、話者がジョンに会う確率が最も高くなります。このように、日本語にすると同じ表現でも、英語では状況によって異なります。



Tips for Grammar

言語材料を学ぶにあたって役立つ情報をまとめています。言語材料についてより深い言語感覚が身につきます。

Exercises

1. 文脈を考えて、()内からより適切な語句を選びましょう。

- ① The entrance examination (begins / is going to begin) at nine o'clock tomorrow morning.
- ② According to the weather forecast, it is (going to snow / snowing) soon.
- ③ Is Kumi back from Canada? Then, I (will see / am going to see) her tomorrow.
- ④ We are (given / giving) a performance at the school festival tomorrow.

2. 日本語に合う英文になるように、空所に適切な語句を入れましょう。

- ① When I grow up, I () () a professional baseball player. 大きくなったら、プロ野球選手になるつもりです。
- ② Where are () () to go for your holidays? 休暇はどこへ行くつもりですか。
- ③ The plane () () Tokyo at 9:30 a.m. その飛行機は午前9時30分に東京に向けて出発します。
- ④ Come on! The train () () in a few minutes. 急いで。電車は数分で出ますよ。

3. 日本語の意味に合うように、()内の語句を並べかえましょう。

- ① Don't worry. We (be / for / late / won't) the meeting. We still have 20 minutes. 心配しないで。会議には遅れませんよ。まだ20分あります。
- ② All the rainforests in the world (are / disappear / going / to) in the next century. 次の世紀には世界中の熱帯雨林はすべて無くなってしまいそうです。
- ③ What time (getting / is / London / the plane / to) tomorrow morning? 飛行機は明日の朝何時にロンドンに到着しますか。
- ④ The special classes for entrance exams (of / on / start / summer vacation / the first day). 入試に向けた特別授業が夏休みの初日から始まります。

Perform

ジョンの人生設計を参考に、自分の未来の予定を立ててペアで会話しましょう。

At the age of 18, John **is going to** enter university. While he is studying at university, he **is going to** study abroad. After he graduates from university at the age of 22, he **is going to** get a job. He **is going to** start his own business by the age of 30.

A At what age **are you going to** get a job?

B I'm _____ because _____.

A That's great!

Age	Events
18	enter univer:
20	study abroad
22	graduate and get a job
28-30	start my own business

Exercises

Focusで学んだ言語材料を、練習問題を通して定着させます。

son 2

Perform

図表やイラストの内容をふまえて行う言語活動を通して思考力を養い、課のゴールとなる言語活動(Main Activity)につなげます。

FOCUS

かんたんな言語活動により、文法を**実際のコミュニケーション**で使えるよう導きます。

ダイジェスト
③
発信

確実に発信力を伸ばす3ステップ形式

「話すこと」「書くこと」の技能を効果的に統合させた3ステップ形式の言語活動で、モデルを参考にしながら自分のことばで伝える力を育みます。

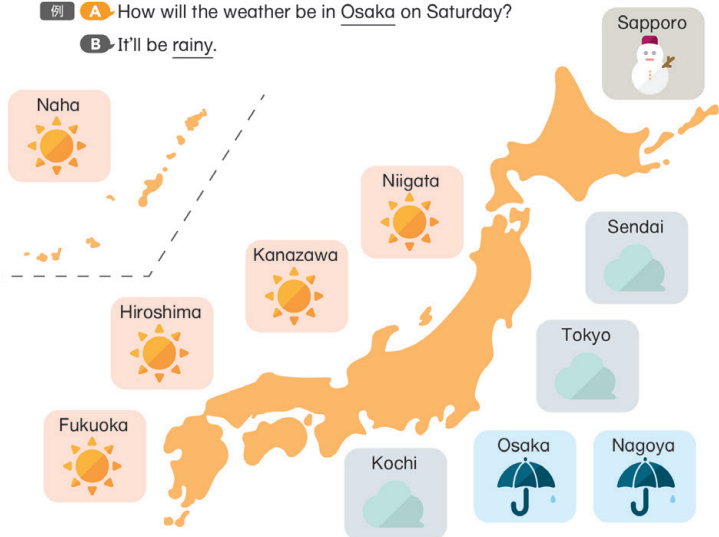
Main Activity

Useful Words & Phrases p.135-LMN

STEP 1

次の土曜日の天気予報を見て、例を参考にペアで会話しましょう。

- 例 A How will the weather be in Osaka on Saturday?
B It'll be rainy.



Main Activity

課のゴールとなる活動です。Model Dialog や Focusで学んだ言語材料を、やり取りや発表で活用していきます。

STEP 2

次の土曜日に、来日した知り合いを近くの都市に案内することになりました。あなたが案内したい都市の情報を表に記入し、例を参考にペアで会話しましょう。

Contents	Example	You
都市	Osaka	()
天気	rainy	()
できること①	visit Namba Grand Kagetsu	()
できること②	see Yoshimoto Shinkigeki	()
できること③	eat <i>okonomiyaki</i>	()

- 例 A I'm going to go to Osaka with my foreign guests.
B How will the weather be in Osaka on Saturday?
A It'll be rainy.
B Then, what are you going to do?
A We're going to visit Namba Grand Kagetsu. We're going to see Yoshimoto Shinkigeki. Then, we're going to eat okonomiyaki.

見開きを使ったゆとりのある紙面構成。記入スペースを広めに設けています。

STEP 3

STEP 1と2を参考に、来日した知り合いと過ごす日の予定をクラスで発表しましょう。

例
I'm going to go to Osaka with my foreign guests on Saturday. It'll be rainy on Saturday in Osaka, so we're going to visit Namba Grand Kagetsu. We're going to see Yoshimoto Shinkigeki. Then, we're going to eat okonomiyaki. Thank you.



FOCUS

内容と関連したイラストを配置。生徒の理解を助けます。

Useful Expressions

天気の状態

観光地でできることの表現

- rainy in some places ところによって雨
- clear and cloudy later 晴れのち曇り
- cloudy and then sunny 曇りのち晴れ
- enjoy a great view すてきな景色を楽しむ
- buy some souvenirs おみやげを買う
- go to a hot spring 温泉に行く
- go shopping 買い物をする
- take pictures 写真を撮る
- join a food tour 食べ歩きツアーに参加する

Further Activity

次の1~3の人やものは、時間が経つと何になるでしょうか。例を参考に、ペアで考えて発表しましょう。

- 例 caterpillars → in 10 months → butterflies
Caterpillars will become butterflies in 10 months.
- babies → in 20 years → _____
 - ice → under the sun → _____
 - milk → after shaking a lot → _____



Further Activity

生徒の習熟度や授業の進度に応じて、さらに発展的な活動を行うことができます。

ダイジェスト 4 特設ページ

実用的な英語の習得も幅広くカバー

さまざまな実用的な場面の対話練習やパラグラフ・ライティングなどの発信活動で、英語を多角的に学ぶページを豊富に用意しました。

Scene

さまざまな場面での対話を学び、**実用的な英語表現**を身につけることができます。**Tips**では英語特有の表現などについて文化的な補足情報を取り上げています。



大学生の誰かがファストフード店で注文をしています。

Client: Hi. *What can I get for you?
Kia: Can I have a cheeseburger meal?
Client: Sure. What drink would you like?
Kia: I'd like a medium ginger ale.
Client: For here or to go?
Kia: For here, please.
Client: That'll be \$12.
Kia: OK. *Can I use a credit card?
Client: Sure, you can. Touch your card on this reader.
Kia: OK.
Client: Thank you. Have a nice day!
Kia: Thanks. You too!

Tips
meal (ハンバーガーなどのメインメニュー、フライドポテトなどのサイドメニュー、飲み物の) セットという意味で使われる。なお飲み物のサイズには、Small, Medium, Largeなどの表現が使われる。
5 For here or to go?
Is that for here or to go?を短縮した形で、ファストフード店やカジュアルなレストランでよく使われる表現。フォーマルなレストランでは、eat in / take out がよく使われる。

- 下線部を入れて、ペアで会話しましょう。
- Are you ready to order? / May I take your order? / What would you like?
- Can I get a turkey sandwich? / I'll have a blueberry muffin.
- a large coffee / a tall latte / a small iced tea
- Can I pay by credit card? / Do you accept credit cards? / Do you take credit cards?

Useful Expressions
What would you like to have? (店員がたずねる場合に)同じように使おう。
Can I have ~? ~をもらえますか。
Can I pay with e-money? 電子マネーで支払えますか。

Break Time

英語特有の発音や数え方などを学び、幅広い知識や教養を**ゲーム感覚**で身につけることができます。

Break Time 1

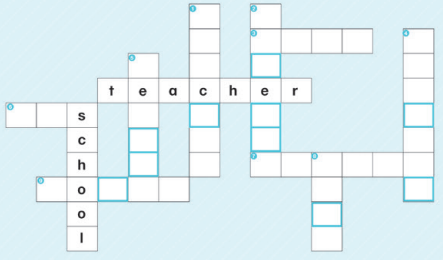
Crossword Puzzle

空欄に入る単語を選択肢から選び、クロスワードを完成させよう。最後に、太枠の文字を並べかえてできる単語は何かを考えよう。

Down (タテ)
① () to our club!
② At school, you can make new ().
③ Our school () has many books.
④ You write with a ().
⑤ What is your favorite subject? — I like () very much.

Across (ヨコ)
① Did you () any interesting books this summer?
② Did you ride the () to school?
③ I hope you will have a great () vacation!
④ What are your () this year?

選択肢: bus / friends / goals / library / math / pencil / read / summer / welcome



できる単語: _____
Hint: 何かが食べるときに使うよ!

I 巻 pp.36-37

知るとおもしろい
プラスαの豆知識も!

Tips
2 meal (ハンバーガーなどのメインメニュー、フライドポテトなどのサイドメニュー、飲み物の) セットという意味で使われる。なお飲み物のサイズには、Small, Medium, Largeなどの表現が使われる。
5 For here or to go?
Is that for here or to go?を短縮した形で、ファストフード店やカジュアルなレストランでよく使われる表現。フォーマルなレストランでは、eat in / take out がよく使われる。

FOCUS
英語への抵抗感を減らし、
学習のモチベーションを
高めます。

Step UP Paragraph Writing ①

パラグラフの構成を理解しよう

パラグラフ・ライティングって何?

パラグラフ(段落)を構成して文章を書くことで、文章は基本的に複数のパラグラフで構成され、1つのパラグラフはトピックセンテンスとサポートセンテンスからなっています。

文章全体の構成: 1st Paragraph (トピックセンテンス), 2nd Paragraph (サポートセンテンス), 3rd Paragraph (サポートセンテンス)

パラグラフ(1段落)の構成: トピックセンテンス (話題・趣意の文), サポートセンテンス (理由・根拠の文), サポートセンテンス (理由・根拠の文)

パラグラフはトピックセンテンスとサポートセンテンスの順で書きます。1つは必ず使いたいことを最初に書くことが多いです。

Friends are important. First, we can talk about anything with them. Second, our friends always help us when we are in trouble. Third, we can learn something new through communication with them.

トピックセンテンス: 友の重要性
サポートセンテンス: 友達と話すことで何でも話せる
サポートセンテンス: 困ったときに助けてくれる
サポートセンテンス: 友達から新しいことを学べる

複雑な活動も
わかりやすく
図解で整理!

Exercises

1. 次のパラグラフの () に入る最も適切な文を、①-④の中から選びましょう。

Studying English is really important for our future. First, we can communicate with many people because (). Second, we can broaden our views because (). Therefore, we must study English.

① we will learn about different ways of thinking through English
② English is a global language
③ English is useful to get a good job

2. 次の文の空欄を埋めて、3次①-④の文を最も適切な順番に並べかえよう。

Second, trains are good for the environment because most of them don't need fossil fuels.
① There are two reasons.
② Trains are better than cars.
③ Cars are convenient too, but we should think about our environment.
④ First, we can get to the destination on time because trains in Japan are rarely late.

() => () => () => () => ()

3. 次の文の空欄を埋めて、3次①-④の文を最も適切な順番に並べかえよう。

I love classical music, and I practice the piano every day.
① I began (shorted) piano lessons when I was three years old.
② Therefore, I must practice the piano harder until I become a professional pianist.
③ I want to become a professional pianist in the future.
④ However, I still cannot play the piano well in front of many people.

() => () => () => () => ()

I 巻 pp.26-27

Step UP Presentation ①

Show & Tell をしよう

Show & Tell って何?

写真などを並べながら行うプレゼンテーションの1つの方法です。

STEP 1 紹介したいテーマを1つ選びます。(私のペット)

STEP 2 マインドマップを使って、アイデアを整理します。

① 名前: ティリー(Tilly) ② 私のペット (My Pet) ③ 犬種: シェパード・ラッセル・テリア (Jack Russell Terrier)
④ 元気な友達 (lively and friendly) ⑤ 私の友人の犬 (my best friend)

STEP 3 マインドマップをもとに、導入→本文→結びの構成で原稿を書きます。原稿を書き終わったら読み直し、必要なら訂正します。

Title: My Pet
Introduction (導入) Hello, everyone. I'm Kenta. I will talk about my pet. Look at this picture.
Body (本文) This is my pet Tilly. He is a Jack Russell Terrier. He is a lively and friendly dog. He is my best friend.
Conclusion (結び) So, please come and see him. Thank you for listening.

I 巻 pp.44-45

FOCUS
段階的に進める構成
で、生徒の達成感を
引き出します。

Step UP Debate ①

ミニディベートをしよう

ディベートって何?

ある議題に対して賛成派と反対派に分かれて議論をする活動です。

議題: Rice is better than bread for breakfast.
理由: 健康にいい / 簡単 / 種類が多い

STEP 1 プレゼンテーションをして、それぞれの立場の理由をできるだけ書き出します。

賛成派 (Pro) It's healthier than bread. Japanese tradition is important.
反対派 (Con) It's easy to prepare. There are many kinds of toasts.

STEP 2 グループで、賛成(Pro)派と反対(Con)派、審判員に分かれ、賛成派と反対派はSTEP 1のメモをもとに意見を主張します。

賛成派 (Pro) I think rice is better because it's healthier than bread.
反対派 (Con) I think bread is better because it's easy to prepare.

STEP 3 双方の主張が終わったら、審判員はJudge Sheetに記入して評価し、どちらにより説得力があったかを発表します。

Judge Sheet
説得力の理由: 健康にいい / 簡単 / 種類が多い
賛成派 (Pro) 1-2-3 点 反対派 (Con) 1-2-3 点
審判員 (Judge) 1-2-3 点 1-2-3 点

Activity

Penalties should be given to those who do not go to elections.

選挙に行かない人には罰金を課すべきだ。

STEP 1 それぞれの立場の理由を英語でメモしましょう。

賛成派 (Pro) Penalties should be given to those who do not go to elections because...
反対派 (Con) I don't think penalties should be given to those who do not go to elections because...

STEP 2 賛成派と反対派、審判員に分かれ、STEP 1のメモをもとに意見を主張しましょう。

STEP 3 双方の主張が終わったら、審判員はJudge Sheetに記入して評価し、どちらにより説得力があったかを発表しましょう。

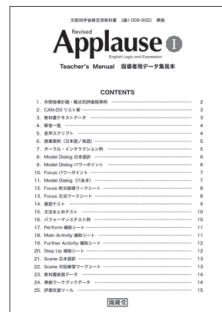
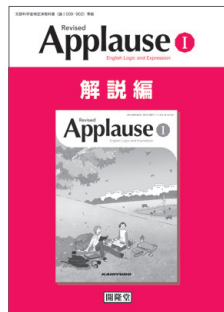
Judge Sheet
説得力の理由: 健康にいい / 簡単 / 種類が多い
賛成派 (Pro) 1-2-3 点 反対派 (Con) 1-2-3 点
審判員 (Judge) 1-2-3 点 1-2-3 点

I 巻 pp.66-67

教師用指導書

Teacher's Manual

★のサンプル(I巻)はこちらからご覧いただけます



1 解説編 ★

各課の導入、本文内容、文法事項、各活動の指導方法などを解説しています。

2 Teacher's Book ★

教科書と同体裁の紙面上に音声スクリプトや解答など、指導に必要な情報を朱書きで掲載しています。

3 指導者用データ集見本

下記④収録の各データの紙面サンプルを掲載しています。



4 指導者用データ集 ※Webサイトからダウンロードしてご利用いただけます。

授業で使えるワークシート素材やテスト問題などのデータを豊富にご用意しています。

- ① 年間指導計画・観点別評価規準例 ★
- ② CAN-DO リスト案
- ③ 教科書テキストデータ ★
- ④ 解答一覧
- ⑤ 音声スクリプト
- ⑥ 授業事例 (日本語/英語)
- ⑦ オーラル・インタラクティブ例
- ⑧ Model Dialog 日本語訳 ★
- ⑨ Model Dialog パワーポイント
- ⑩ Focus パワーポイント
- ⑪ Model Dialog (穴あき)
- ⑫ Focus 例文暗唱ワークシート
- ⑬ Focus 文法ワークシート
- ⑭ 確認テスト (Word / Googleフォーム)
- ⑮ 文法まとめテスト
- ⑯ パフォーマンステスト例
- ⑰ Perform 補助シート
- ⑱ Main Activity 補助シート
- ⑲ Further Activity 補助シート
- ⑳ Step Up 補助シート
- ㉑ Scene 日本語訳
- ㉒ Scene 対話練習ワークシート
- ㉓ 教科書紙面データ
- ㉔ 準拠ワークブックデータ
- ㉕ 評価支援ツール

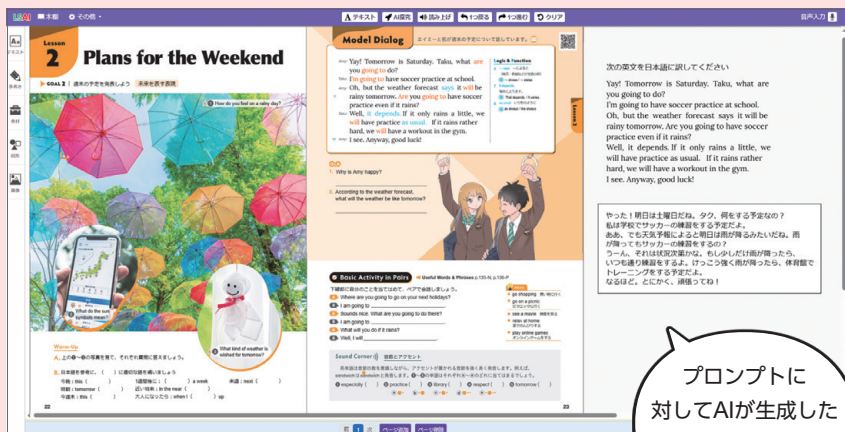


5 デジタルAI教科書 (指導者用デジタル教科書 (教材))

解答表示や音声再生などはもちろん、生成AIを使った授業準備が可能です。 ※ブラウザ上でのご利用となります。

搭載機能

- ① 本文再生
- ② 解答表示
- ③ 音声スクリプト表示
- ④ 役割再生
- ⑤ 生成AIによるカスタムデータ作成



プロンプトに対してAIが生成したカスタムデータの例

詳細はHPの体験版へ

Teacher's Manual 解説編PDFファイル版

左記①のPDFデータ単体での販売です。

学校用CD

指導に必要な音声を授業の流れに沿って網羅して収録しています。また、収録音声のmp3データを専用Webサイトからダウンロードして、ご利用いただけます。



Teacher's Book

左記②単体での販売です。

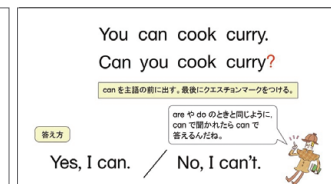


QRコンテンツ

モデル文や文法事項の例文、言語活動の対話例や文法アニメといった、タブレットで見られるQRコンテンツを豊富に用意しました。教科書紙面にあるQRコードから簡単にアクセスできるので、生徒は自分に合った学習を選び、いつでもどこでも取り組めます。



④ 文法アニメ

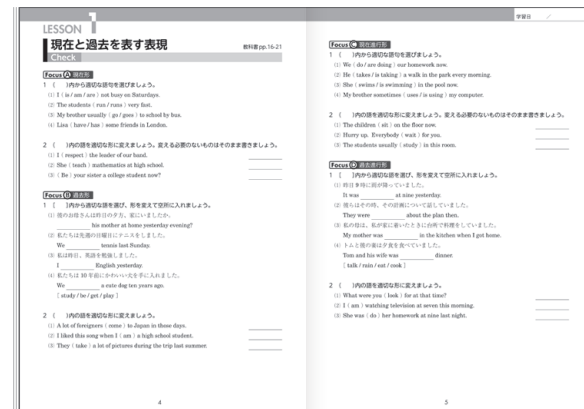
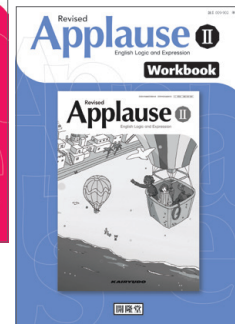
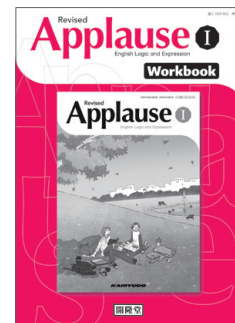


④ I巻 Lesson 1の目次

生徒用準拠教材

Revised Applause English Logic and Expression Workbook

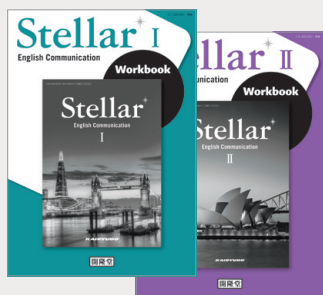
豊富な問題数を多彩な形式でご用意。基礎から大学入試レベルまで対応しています。QRコードで教科書と同じ音声をくり返し聞くことで、英文の理解をサポートします。別冊の解答には詳しい解説を付し、さらに深い理解へと導きます。



各Lessonの学習ページ

ワークブックのご案内

英語コミュニケーション準拠



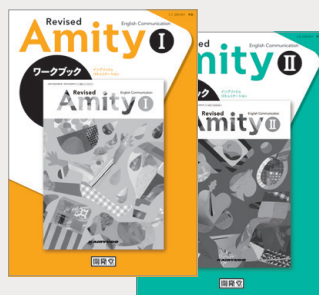
Stellar Workbook

- ① 本冊 112頁／別冊解答 40頁
- ② 本冊 116頁／別冊解答 40頁(予定)



Bloom Workbook

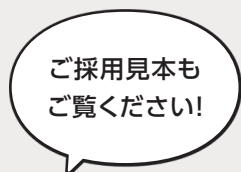
- ① 本冊 96頁／別冊解答 32頁
- ② 本冊 104頁／別冊解答 40頁(予定)



Revised Amity ワークブック

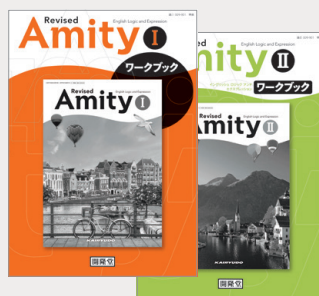
- ① 本冊 72頁／別冊解答 16頁
- ② 本冊 83頁／別冊解答 16頁(予定)

論理・表現準拠



Revised Applause Workbook

- ① 本冊 96頁／別冊解答 48頁
- ② 本冊 96頁／別冊解答 32頁(予定)



Revised Amity ワークブック

- ① 本冊 72頁／別冊解答 48頁
- ② 本冊 72頁／別冊解答 48頁(予定)



こちらからお読みいただけます



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



開隆堂出版株式会社

<https://www.kairyudo.co.jp/>

- | | | | |
|-------|-----------|-----------------------------------|----------------|
| 本社 | 〒113-8608 | 東京都文京区向丘1丁目13番1号 | ☎ 03-5684-6111 |
| 北海道支社 | 〒060-0042 | 北海道札幌市中央区大通西11丁目4番地21 52山京ビル7階 | ☎ 011-231-0403 |
| 東北支社 | 〒983-0852 | 宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目10番7号 サンライン第66ビル5階 | ☎ 022-742-1213 |
| 名古屋支社 | 〒461-0004 | 愛知県名古屋市東区葵1丁目15番18号 オフィスサンナゴヤ9階 | ☎ 052-908-5190 |
| 大阪支社 | 〒550-0013 | 大阪府大阪市西区新町2丁目10番16号 | ☎ 06-6531-5782 |
| 九州支社 | 〒810-0075 | 福岡県福岡市中央区港2丁目1番5号 FYCビル3階 | ☎ 092-733-0174 |